

2023年12月25日発行

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 外部連携団体からのお知らせ
- 3) 健康心理学コラム vol. 132 「単項目尺度『主観的健康感』の可能性」 山内 加奈子 (福山市立大学)

1) 学会からのお知らせ (<https://kenkoshimri.jp/>)

■日本健康心理学会第36回大会のお礼 (大会長 山蔦 圭輔)
12月2日および3日、神奈川大学みなとみらいキャンパスで開催された第36回大会は無事盛会に終えることができました。深くお礼申し上げます。こうした機会を設けることができたこと、神奈川大学としても大変ありがたく、うれしく感じております。大会以外にも集える機会に恵まれることを願っております。
さて、ポスター発表などの抄録ですが、現在最終編集集中であり、近日中にJ-stageへ掲載される予定でございます。本大会を振り返る良い機会となるかと存じます。ぜひアクセスしてください。
また、第37回大会は別府大学 (大会準備委員長 矢島 潤平 先生) です。第36回大会同様にご覧いただくことを楽しみにしております。

日本健康心理学会第36回大会ホームページ
<https://jahp36th.fjss.jp/>

■ヨーロッパ健康心理学会 Practical Health Psychology blog (PHPB, 実践健康心理学ブログ) の12月記事のお知らせ (国際委員会より)
“Staying well while staying at home”の日本語記事「家での時間を健康的に過ごそう」が掲載されました。

下記URLよりご覧ください。
<https://practicalhealthpsychology.com/ja/2020/10/staying-well-while-staying-at-home/>

※アクセスの際には、URL 全てをコピーしアドレスバーへペーストのうえご覧ください。

※ブラウザによっては開けない場合があります。その際にはお手数ですが、別のブラウザにてお試しください。

■2023年度「本明記念賞」授賞論文の決定 (本明記念賞選考委員会)
本学会誌第35巻の原著論文を対象に、2023年度「本明記念賞」の審査が行われ、浦田 裕美・小原 圭司・久保 浩明・加藤 隆弘「養護教諭向け自殺予防ゲートキーパー研修プログラムの効果評価の試み」が受賞論文に決定しました。

■ヘルスサイコジスト92号の発行 (広報委員会より)
ヘルスサイコジスト92号が学会HPに掲載されています。下記URLよりアクセスしていただき、併せてご覧下さい。
https://kenkoshimri.jp/health/pdf/2311_92.pdf

2) 外部連携団体からのお知らせ

■「健康日本21 (第三次)」に関する特設 Web コンテンツの配信 (健康日本21 推進全国連絡協議会より)
下記URLよりご確認ください。
https://www.smartlife.mhlw.go.jp/event/kenkounippon21_3/

3) 健康心理学コラム Vol. 132

「単項目尺度『主観的健康感』の可能性」
山内 加奈子 (福山市立大学)

主観的健康感とは、健康度自己評価あるいは自覚的健康度とも呼ばれ、国内外で活用されている簡便な健康指標の一つです。医学的な健康状態ではなく、自らの健康状態を主観的に評価する指標であり、死亡率、有病率等の客観的指標では表せない全体的な健康状態をとらえる健康指標でもあります (艾他, 2005)。しかし、身体に不具合をもつことが主観的に非健康と評価するとは限りません。

主観的健康感の定義は明確にはなされていませんが、これまでに身体、精神、社会的側面、生活習慣等と関連する健康の包括概念であると考えられてきました。生命予後との関連は2000年より前の研究が多いですが、一方で近年、健康に対する意識の向上および知識供給の高まり等により主観的健康感の価値観は多様化していると考えられます。つまり、本尺度は主観的な自己評価で判断する性質のため、とらえ方は時代とともに変化している可能性があります。また、様々な研究で使用される尺度のため、妥当性の有無が重要で、そこで、山内他 (2013) は主観的健康感と死亡の関連をみたところ、男女ともに身体、精神、社会的側面や生活習慣を調整しても有意な関連が認められ、生命予後の悪化を予測する上で有用であることが示唆されました。昨今では、主観的健康感と免疫系の関連を示す研究も散見され広がりをみせています。単項目でありながら可能性を秘めた尺度として、更に研究を進める必要があると感じます。

引用文献

艾他・星 且二 (2005). 高齢者における主観的健康感の有用性に関する研究 日本と中国における研究を中心に 日本公衆衛生雑誌, 52(10), 841-852

山内 加奈子・斎藤 功・加藤 匡宏・小林 敏生 (2013). 地域高齢者における主観的健康感と5年間の死亡に関する追跡調査 第72回日本公衆衛生学会

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更は下記アドレスまで

日本健康心理学会事務局 <jahp@pac.ne.jp>

メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで

広報委員会 <jahp@pac.ne.jp>

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます

<https://kenkoshimri.jp/health/health1.html#mailmaglist>